

令和5年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会において
議論する事業・市町の抽出について

- 1 議論する事業・市町の抽出の考え方
 - ア 各委員の評価が3段階以上離れた事業・市町を抽出
 - イ 意見票において議論の希望があった事業・市町を抽出
 - ウ 以下に該当する事業・市町から、特に議論すべきと考えられる事業・市町を抽出
 - ・特記事項において、確認事項が多かった事業・市町
 - ・評価が低かった（C評価が多かった）事業・市町

- 2 議論する事業市町の選定
 - (1) 1のアに基づき、各委員の評価が3段階以上離れた事業・市町は該当なし
 - (2) 1のイに基づき、意見票で議論の希望があった事業・市町は該当なし
 - (3) 1のウについて、確認事項があり、C評価をいただいた事業は多数あり、特定の事業・市町に絞って議論するよりも、いただいた確認事項に対して回答を示したうえで、疑問点等について議論する方が有効と考えられる。

以上のことから、令和5年度第2回評価委員会では、特定の事業・市町を選定するのではなく、いただいた確認事項に対して回答を示したうえでご議論いただくこととします。

意見票

令和5年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会において議論する事業等について、次のとおり意見します。

令和5年度第2回みえ森と緑の県民税評価委員会において、
議論する事業・市町について

【石川委員長】

みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。単に、ロゴマークを付けた、のぼりを設置した、といったことではなく、2つの基本方針と5つの対策との関係を情報発信度の欄に明記していただければと思います。

森を育む人づくりや森と人をつなぐ学びの場づくりでは、事業実施の効果を評価するアンケートなどの実施、結果の公表が必要と感じます。

【松井委員】

尾鷲市では、市の広報で「みえ森と緑の県民税」の実績と計画を掲載して市民に周知する取組がなされている。

実績については他の市町でも取り組みがなされているが、「みえ森と緑の県民税」を活用して「このような事業を募集している」といった取り組みは他の市町ではあまりないようなので、税の周知の観点から非常に良い取り組みだと思う。

【森下委員】

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）の対策区分2の危険木伐採事業では市町によって伐採、処理の仕方がいろいろあるようですが、危険木は伐採後どのように処理されているのかが気になりました。危険木を伐採後そのままにしておくケースは少なく、片付けのため近くに片づけられる場所があればそこにきれいに置くとか、道から近ければトラック等でその場所から運び出されるケースが多いと思われます。所有者の方がおられるかもしれませんが、好きにしてもよいようでしたら、できればそのような木は有効に利用されたいのではないかと思います。

鳥羽市では情報発信への取り組みの中で、「危険木伐採後、町内会・漁協を通じて伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行っている」としています。

尾鷲市では事業方針の中で、「危険木について伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考

える…」としています。

このように伐採された危険木はできるだけ有効に活用されればいいのでは、と思います。

今回いくつもの市町の交付金(基本枠、加算枠)事業の内容を拝見しまして、市町によって使い方が様々であること、自分の住んでいる市町がこういった県民税の使い方をしているというのを初めて知りました。

森と緑の県民税があることは知っていても、どんなことに使われているのか、使えるのかを知らない人も多いと思います。それぞれの市町の住民から、こういうところに使ってほしいという意見が出てくるようになればいいと思うので、どんなところに県民税が使われているのかをもっとアピールしていく必要があると思います。

○令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業に係る確認事項と回答

実施主体	事業名	項目 (評価)	確認事項	回答
三重県	森林とふれあう 自然公園環境整備事業	効率性 (C)	効率が良いと言えるのか疑問である。	<p>16回の自然体験ツアー・森林教育イベントのうち、4回については、イベントと併せて施設の修繕や遊具の作成など環境整備を実施しており、修繕等に必要な資材などの経費が含まれているため、その分事業費が大きくなっています。</p> <p>こうした環境整備については、イベント参加者だけでなく、日常的な施設利用者が安全かつ快適に利用できる環境づくりに繋がります。</p> <p>イベントと併せて施設の修繕等を行うことで、参加者に自然に親しんでももらいながら、環境整備を進めることができるため、効率的であると考えています。</p>
		公益性 (C)	利用者の目標値が疑問である。	<p>三重の森林づくり基本計画2019で設定する目標値「森林文化・自然体験施設等の利用者数」については、森林公園や自然公園施設等の利用を通じて、森林や自然と触れ合った人の数となっており、令和10年度には1,613千人に増やすことを掲げています。</p> <p>本事業については、この目標値の達成に資する事業の一つとなっており、その他にもさまざまな事業を実施しており、そうした取組を総合的に進め、目標達成を目指しているところです。</p>

津市	津市林地残材搬出促進事業	公益性 (B)	<p>木材（林地残材）の搬出経費の一部を支援する事業が、対策区分別事業費割合で見ると9割近くを占める事業となっているが、津市民に県民税の活用方法として理解が得られているのか知りたい。</p>	<p>林地残材搬出促進事業に関しては、津市HPのみえ森と緑の県民税のページに掲載し、また、「津のいま・みらい～津市政策集～」にも、本事業の説明をしています。また、市庁舎や県庁舎で本事業のパネルを展示し、市民、県民への周知を行います。</p> <p>本事業を行った林業事業者（4者：中勢森林組合、木原造林(株)美杉事業所、wood job(株)、大河内林産）も森林がきれいになった、この事業は続けた方が良く、手応えを感じており、また、地域住民からも安心感が増したという声をいただいています。津市森林整備協議会においても、山の中に材を残さないことは、二次災害の原因を取り除くことにつながる為、有益であると意見をいただいていることから、市民から理解を得られているものと考えます。</p> <p>災害に強い森林づくりを進めていくため、本事業を継続していくとともに、本事業について、より一層市民の方々に理解してもらおうよう、引き続き周知に努めます。</p>
災害からライフラインを守る事前伐採事業	有効性 (A)	伐採252本、植栽210本とあるが、植栽の詳しい状況を知りたい。伐採後に何かの木を植栽したのですか。	事業実施箇所は、美杉町八知地内の県道久居美杉線沿いの森林です。県道沿いに中部電力の電線が張られているため、道路延長70m、道路から山頂に向けて30m、計2,100㎡において杉及び桧、計252本を伐採しました。伐採後には、低木（シキミ、サカキ、ヤブツバキ、ミツマタ）計210本を植栽しました。10㎡あたり1本を植栽しました。	

津市	竹林整備支援事業	公益性 (B)	機械利用時の事故等危機管理はどのようにしているのか？	<p>借用中の機械の使用、管理に関しては、借入者が全責任を負うこととしています。このことから、借入者の不注意等による故障等については、借入者によって修理していただくこととなります。</p> <p>一方で、市においても定期的なメンテナンスを行っており、機械の安全を確保したうえで貸出を行っています。</p>
津市	津市森林環境教育事業	有効性 (A)	アンケート結果を考慮した実施となっているか (昨年度のアンケート)	<p>夏休み森と緑の親子塾について、R3のアンケートの回答では9割以上の方から良かったと御意見をいただいたので、R4においても同じ内容で実施しました。</p> <p>まると林業体験は、R3のアンケートの回答では7割程度が良かったと御意見をいただいています。ポータブルウインチの集材体験が実際に使用する人向けの内容となってしまうました。R4は高性能林業機械による搬出間伐の現場見学を行いましたところ、現場見学に関しては全員から良かったとの回答をいただいています。</p>
松阪市	森林環境学習事業	公益性 (C)	森林管理や林業の「担い手」育成する機会となっているか？	<p>森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解を深め、木と触れ合い体感し、木の良さを知らうことにより、間接的ではあるが森林管理や林業の次世代の担い手の育成につながると考えています。</p>
	情報発信度 (C)		絵本の作成・配布は実施されたのか？	<p>絵本を作成し、市内保育園・小学校等105施設に各1冊を作成・配布しました。</p>

松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	公益性 (C)	講師報酬を一式とするのは不適當である。人×日などの形で示してほしい。	11,000円×2人×1日 = 22,000円となっています。
多気町	木とふれあう教育支援事業	公益性 (C)	なぜ一校だけの実施なのか？	多気町では計画的に事業を実施しており、昨年度はまず津田小学校で実施しました。 来年度は外城田小学校での実施を計画しており、順番にすべての小学校で実施する予定です。
		有効性 (B)	薬剤散布の他への影響を把握して、対策をとっているのでしょうか。	事前に実施日について、調整を行っており、近くに施設の利用者等がいる場合は、注意喚起をして実施している。
	松林整備事業	効率性 (C)	樹幹注入・伐倒一式では効率性が不明である。	伐倒駆除:40本、樹幹注入:松425本を実施しており、一括して発注することで、諸経費の削減を図っている。 (内訳) 伐倒駆除40本 404,250円 樹幹注入425本 5,370,750円
明和町	木育事業	有効性 (C)	効果と目的が一致するのか疑問がある。アクセサリーの作成が「森や緑の環境を思いやる心」に直結するかは疑問がある。アンケートの回答も「よく分かった」に比べ「楽しかった」に集まっており、目的からは少し外れた結果となっているように思われる。	森林や木材について学び、ふれあう場として木育授業を実施しており、「森と人をつなぐ学びの場づくり」という目的に沿ったものと理解している。さらに、子どもたちの「楽しかった」という感想からも、「木」に対して非常に好感を持ったことが伺え、そのプラスの感情はいづれ木や森を思いやる心にもつながりえるものであると考える。

明和町	木育事業	<p>効率性 (C)</p>	<p>効率性が不透明である。授業一回では準備を含めても高額のように感じる。</p>	<p>事前準備のみならず、講師2名の派遣、ヒノキ等の木材費や紙やすり、ストラップの紐等材料費を含んでおり、妥当な価格である。 (内訳) 講師 27,860円 (2人×1日) 材料費 14,080円 諸経費 9,060円</p>
		<p>公益性 (C)</p>	<p>受益者数の根拠が不明である。画像内の参加者数に比べて受益者400人は多すぎるように思う。算出過程が不明である。</p>	<p>受益者数の入力内容に誤りがありました。正しくは、26名(児童)が受益者となります。</p>
		<p>公益性 (C)</p>	<p>なぜ一校でしか実施していないのか？</p>	<p>町では、木育授業ははじめての取組であったことから、まずはモデル的に1校を選定して実施した。今後、校長会を通じて他校への水平展開を検討していく。</p>
伊勢市	森林整備事業	<p>効率性 (B)</p>	<p>保安林下刈り業務について、東豊浜と二見の1ヘクタール当たりの単価が374,864円と1,106,842円になっているが金額に大きな違いがあるのはどうしてか。</p>	<p>数量(面積)に入力誤りがあり、正しくは東豊浜が1.9ha、二見が3.7haで、これにより、それぞれの単価が以下のとおりとなり、枝打ち費用を除くと大きな単価差はありません。 東豊浜：730,000円(枝打ち費用含む) 二見：567,378円</p>

伊勢市	危険木伐採事業	有効性 (B)	実施場所の選定方法は？	市において、公益性の高い施設や道路沿いにある危険木が存する箇所を選定しています。 なお、自治会等への要望調査は実施しておりません。
志摩市	災害に強い森林づくり事業	有効性 (B)	自治会からの要望の収集方法は？	日常的な市民(自治会)からの要望に基づき、税の用途に沿って優先度の高い個所から事業を実施している。
	創造の森横山遊歩道整備事業	有効性 (B)	安全性の確保や点検についてはどう考えているか。	施設は防腐剤の注入も含めた材料確認により必要な強度を確保しており、また、職員や関連する団体によるチェックを随時実施し、必要に応じて利用制限や改修を行うこととしている。
名張市	未利用間伐材バィオマス利用推進事業	公益性 (C)	利用が1件に集中しており公益性に疑問がある。	搬出登録をしている17名全員に対して、搬出した際の運搬費について、申請に基づいて補助することが可能であるため、公益性は保たれていると考えている。
	森林環境教育推進事業	効率性 (C)	ほぼバス賃料だが、冊子制作ほかの経費はどうなっているのか？	冊子製作ほかの経費に関しては地元自治協の予算でまかなっている。
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	効率性 (C)	本事業で一律補助が適切なのかは疑問である。	補助金額は、事業に必要な経費を対象とし、上限を25万円とされています。25万円に満たない場合は、事業対象経費の合計から1,000円未満の端数を切捨てた額を交付してまいりますので、一律補助ではありません。

伊賀市	未利用間伐材バ イオマス利用推 進事業	公益性 (C)	参加者数が不明であり公益性が不明確 である。	<p>令和4年度事業では、市内の森林を所有する者（当該者から委任を受けた者を含む。）13名に対して、延べ19件の補助を行っています。</p> <p>なお、補助金の交付の対象者は、市内の森林を所有する者（当該者から委任を受けた者を含む。）であって未利用間伐材を搬出する者ですので、補助対象者の限定はしておりません。また、当補助金は、市内における森林整備活動において発生する未利用間伐材を搬出することにより、森林の適正な管理及び未利用間伐材の有効な利活用を促進するものですので公益性があると考えています。。</p>
伊賀の森っこ育 成推進事業	効率性 (C)	個別の用途が不明である。（各学校ご との経費の内訳）	個別の用途は別紙「伊賀の森っこ育成推進事業経費内訳」の とおりです。	
地域の森と緑の つながり支援事 業	効率性 (C)	個別の用途が不明である。（団体ごと の経費の内訳）	<p>令和4年度の申請団体の用途の内訳は以下のとおりです。</p> <p>阿波地域住民自治協議会：報償費10,000円、使用料及び手数料 20,000円 布引地域住民自治協議会：報償費50,000円</p>	

伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	効率性（C）	事業内容と補助額が妥当なのか？	<p>事業に要した経費の内容及び金額について、実績報告書で確認し、補助金を交付しています。</p> <p>当事業における効果は、新聞にも記事として掲載されており、森のやすらぎ空間の整備と高校生等に対する木育の機会となっています。</p>
紀宝町	森と緑の環境教育事業	効率性（C）	いずれの企画も委託料一式となっており効率性が不透明である。	<p>各企画の委託料には、講師の交通費、展示、実習、ワークショップ、映画上映に係る諸費用が含まれていますが、他で催された各々の同等企画の実績等を勘案して設定しています。</p> <p>なお、上映会及びワークショップは4名に支出されており、内訳は地元在住講師1名に10千円、町外在住講師3名のうち1名に150千円、他2名(チラシに講師紹介なし)に70千円です。</p>
		公益性（C）	各行事の参加人数は？	<p>第11号様式（その2）（評価委員会資料）2. 事業実績概要</p> <p>【事業量】に記載のとおりです。</p> <p>※内訳再掲（10月18～11月6日写真展131名、11月6日講演会29名、1月19～20日獣害に強い里山づくり講座62名、3月25日森とみどりのおはなし会&ワークショップ11名、3月26日上映会・ワークショップ25名）</p>

○別紙「伊賀の森」こ成推進事業経費内訳

学校名	申請額	計画書 内容	実施場所	交付確定額	報償費	旅費	需用費	役務費	使用料及び手数料	その他	自己資金	合計
合計	2,862,940			2,845,392								合計
崇広中学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	327,500	木工体験学習、森林環境教育	崇広中学校	327,500	0	0	327,500	0	0	0	0	327,500
島ヶ原小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	間伐材木工体験、森林環境教育	伊賀市立島ヶ原小学校	100,000	30,000	15,000	55,000	0	0	0	0	100,000
府中小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	木工体験、森林環境教育	県立上野森林公園	100,000	0	0	100,000	0	41,000	0	41,000	100,000
青山中学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	200,000	森林環境教育、木工体験	青山中学校区内各地及び周辺の森林	200,000	0	4,680	157,930	1,530	35,860	0	0	200,000
神戸小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	木工体験、森林環境教育	上野森林公園および神戸小学校	100,000	16,500	0	48,000	0	35,500	0	0	100,000
成和東小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	林内散策及び観察、木工体験	かぶとの森テラス	100,000	0	0	34,150	4,730	61,120	0	0	100,000
城軍中学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	225,000	木工体験	城軍中学校	225,000	0	0	225,000	0	0	0	0	225,000
依那五小学校伊賀の森」こ推進事業委員会	100,000	森林環境教育、木工体験、林内散策	三重県民の森、上野森林公園	100,000	16,500	0	22,840	0	96,660	0	36,000	100,000
緑ヶ丘中学校伊賀の森」こ推進事業委員会	447,000	木工体験、森林環境教育	緑ヶ丘中学校	447,000	0	0	447,000	0	0	0	0	447,000
西尾橋小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	木工体験、林内散策、森林環境教育	三重県森林公園、チンチロリン村、西尾橋小学校	100,000	22,500	0	47,070	0	30,430	0	0	100,000
上野西小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	400,000	木工体験、森林環境教育	上野西小学校	400,000	78,000	167,464	86,926	11,300	56,310	0	0	400,000
青山小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	144,200	木工体験、林内散策	上野森林公園	144,200	16,500	98,000	29,700	0	0	0	0	144,200
上野北小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	52,140	木工体験、森林散策	上野森林公園	52,140	15,000	0	32,400	0	0	4,740	0	52,140
上野東小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	300,000	森林散策、木工体験	上野森林公園	299,502	54,500	0	245,002	0	0	0	0	299,502
阿山小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	67,100	森林散策、木工体験	上野森林公園	50,050	30,000	0	15,500	0	0	4,550	0	50,050
壬生野小学校伊賀の森」こ推進事業実行委員会	100,000	森林環境教育、園うち体験	伊賀市立壬生野小学校、「昆虫の森」	100,000	10,000	90,137	0	0	0	0	137	100,000